

| | 子どもの声・姿・意識 | 活動の展開 | 教師の関わり(手立て) | 単元の評価規準 ○知識・技能◎思考・判断・表現●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点] |
|-----|---------------------------------|-------|-------------|---|
| 一学期 | 1年間を通して扱う材を決め、材について知る(8) | | | <p>○世田谷には素晴らしいものづくりがあることを知り、そのよさを理解している。 [①課題を見出し、把握している] <③課題対応能力></p> <p>◎材について考え、友達と話し合いながら課題作りをし、解決に向けて考えている。 [①課題を見出し、把握している] [②課題解決の方法を考えている] [③ 協働して学んでいる] <①人間関係形成・社会形成能力> <③課題対応能力></p> <p>●大根作りやお皿作りを行うためのそれぞれの課題を解決するために、仲間と協力して話し合いながら意思決定をすることができる [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる] <① 人間関係形成・社会形成能力> <④キャリアプランニング能力></p> |
| 二学期 | 材について探究する(32) | | | <p>◎大根作りやお皿作りについて、仲間と協力して話し合いながら自分が作りたいものを決定し、行動して気が付いたことをもとに、次の活動を具現化するための振り返りや話し合いをしている。 [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる] <①人間形成・社会形成能力> <③課題対応能力></p> <p>○活動を通し、調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながまとめる方法が分かる。 [④学びを振り返り、次につなげている]</p> |
| 三学期 | 地域を意識して広める(12) | | | <p>◎世田谷 Foodishの魅力、伝える相手や目的に応じて考えをまとめ、適切な方法で工夫して表現している。 [4:学びを振り返り、次につなげている] <②人間形成・社会形成能力> <③キャリアプランニング能力></p> |

材(ものづくり「大蔵大根づくり・お皿作り・大根料理作り」)のもつ価値

- ・紙、竹、木、土等、材になるものが豊富にあり、子どもたちが創造性に富んだものを作り出すことが無限に広がる可能性がある。
- ・世田谷区には、多くのものづくりが存在し、それらを知り、触れることで、地域をさらに知って、愛郷心をもつことにつながる。
- ・ものづくりを繰り返し行い、課題を見付け、課題に向き合い追究することで、課題を解決する力を身に付けることができる。
- ・ものづくりを行い、作品を作り上げることで、自分たちで考えた達成感を得ることができ、自己肯定感につながる。
- ・地域を意識した発表をすることで、地域に目を向け、視野を広げることにつながり、ものづくりを通して、帰属意識を強くもつことができるようになる。

材(ものづくり)に寄せる子どもたちの思いや願い

- ★自分たちで探究しようと決めた材について、誇りを持ち、よりよく作りたいと思っている。
- ☆自分たちのイメージしたものが少しずつ形にしたいと考えている。
- ☆自分たちが作ったものを学校や地域の人にも知ってほしいと願っている。
- ☆他の教科でも地域やものづくりについて学びたいと考えている。
- ☆一つの目標にクラス全員で向かうことの楽しさを感じたいと考えている。
- ☆自分たちの力で解決していこうとしている。

★…子どもたちの深層にある求め(子どもたちが一番やりたいこと・願い)